

笹目川の今後の整備について 説明会開催概要

- 1 開催日時 令和5年6月15日(木) 18時30分～20時30分
- 2 開催場所 戸田市新曽福祉センター3階ホール
- 3 参加人数 36名
- 4 説明内容 戸田市の治水対策(第1回説明会のおさらい)
具体の取組①【河床の掘削】
具体の取組②【堤防高さの確認、堤防の嵩上げ(余裕高不足区間)】
具体の取組③【戸田漕艇場の貯水量の拡大】
具体の取組④【(仮称)戸田公園樋門の整備】
具体の取組⑤【笹目川排水機場のポンプ能力増強】
市が実施している主な浸水対策
- 5 質疑回答 質問及び回答は以下のとおり

○具体の取組②【堤防高さの確認、堤防の嵩上げ(余裕高不足区間)】

(質問) 県で実施した測量結果は見ていただくことは可能なのか。

(回答) 閲覧は可能である。

(質問) 堤防の嵩上げの形状はどのようなものか。

また、いつ、どこから嵩上げを始めるのか。

(回答) 形状は設計の中で検討しているところである。

着手時期は未定だが、今年度中に下流から着手したいと考えている。

○具体の取組②【堤防高さの確認、堤防の嵩上げ(余裕高不足区間)】

具体の取組④【(仮称)戸田公園樋門の整備】

(質問) 堤防嵩上げの前に戸田公園樋門を完成させてしまうと、笹目川から水が溢れる不安があるのだが順番はどうする予定か。

(回答) 第1回説明会でも説明したとおり、樋門が完成する前に堤防嵩上げを完了させる。

○具体の取組④【(仮称) 戸田公園樋門の整備】

(質問) 樋門整備後も漕艇場は活用するのか。

(回答) 樋門整備後も漕艇場の機能は活用していく予定である。

○具体の取組④【(仮称) 戸田公園樋門の整備】

具体の取組⑤【笹目川排水機場のポンプ能力増強】

(質問) 戸田公園樋門を整備するより先に笹目川排水機場のポンプ増強をするべきではないか。

(回答) ポンプ整備には時間がかかるため、有効な対策を同時に並行で進めていく。

整備規模からポンプ増強の方が期間を要するが、取入水門が笹目川の堤防高さより低いことで河川の水が溢れる状況は放置できないため、同時に進めていく。今回説明をしたいずれの取り組みも笹目川の再度災害防止に向けて必要なため、同時に進めていくことにご理解いただきたい。

(質問) ポンプも含めたスケジュールをはっきり示さないと樋門工事の着手はない。

(回答) ポンプの増強はこれから基本検討に着手するため、具体的なスケジュールは示せないが、今回説明をしたいずれの取り組みも笹目川の再度災害防止に向けて必要なため、同時に進めていくことにご理解いただきたい。

○具体の取組②【堤防高さの確認、堤防の嵩上げ(余裕高不足区間)】

具体の取組④【(仮称) 戸田公園樋門の整備】

具体の取組⑤【笹目川排水機場のポンプ能力増強】

(質問) 堤防のかさ上げが最優先である。堤防嵩上げ、ポンプ増強、樋門整備、の順番で進めるべきと考える。まずは嵩上げを優先して、今はそれ以上進める必要はない。

(回答) 今回説明をしたいずれの取り組みも笹目川の再度災害防止に向けて必要なため、同時に進めていくことにご理解いただきたい。

堤防の嵩上げは最優先で全力を挙げて取り組む。

(質問) 樋門のスケジュールは3年とわかったが、堤防嵩上げやポンプの増強はすぐにも取り掛かってほしいが現在の取り組み状況は。

(回答) 嵩上げは測量結果を基に設計を進めており、今年度工事に着手したいと考えている。ポンプ増強は国との調整が整ったので、基本検討委託を発注したところである。具体的なスケジュールは検討の中で決めていく。

○具体の取組③【戸田漕艇場の貯水量の拡大】

(質問) 6月の台風第2号ではボート場の67周年記念大会が台風により延期となった。
ボートレースは延期すればいいため、治水を優先すべき。

(回答) 3日前程度から台風は予報が示されるため、現地をみて、施設に影響のない範囲で
予備放流を最大限拡大することで公園管理者と調整を進めている。

○具体の取組⑤【笹目川排水機場のポンプ能力増強】

(質問) 令和元年台風第19号の際に川越、東松山で被災して復旧している。
復旧が完了したら今後は荒川の水位が上がり笹目川の水が荒川に吐けなくなるの
ではないか。

(回答) 荒川が氾濫危険水位に達したら排水機場を停止するが、荒川と笹目川では目標と
している降雨の規模が違う。

(質問) 台風第19号の際に荒川に流せなかった時間があると聞いている。
流せなければ増強しても意味がないのでは。

(回答) 台風第19号の際には、笹目川排水機場はフル稼働しており、荒川の水位が原因で
停止した時間はない。

○その他

(質問) 先日の台風第2号では、ボートコース場に流入したのか。
また、その際に漕艇場の施設に被害はあったのか。

(回答) 夕方と深夜の2回、取入水門から越水し、笹目川の水位は最大A.P+3.48m、漕艇
場はA.P+2.69mまで上がった。

聞いた範囲での情報にはなるが、選手の控室に浸水しコンセントに被害、発艇台が
水位の上昇により外れたと聞いている。

(質問) 台風第2号では事前にボートコース場の水位は下げたのか。

(回答) A.P+1.1m～A.P+1.2mの範囲に水位を下げた。

(質問) さいたま市に降った雨も笹目川に集まってくる。流域全体で貯水池を作るなど対
策が必要ではないか。

(回答) 川だけでなく流域全体での取り組みが必要である。
流域治水対策協議会で流域市と連携して治水対策を進める。

(質問) 上流のさいたま市にも対策を働きかけてもらいたい。

(回答) 流域全体で治水対策に取り組んでいく。

(質問) ボートコース北側の溢水ばかり話に出るが、笹目南町でもマンションの1階部分が浸水し腰の高さまで浸かっている。県、市から当該地区に対する対策の説明が無いが、どのように対策するのか。

(回答) 計画よりはるかに多くの雨が降ったことにより河川の水位が高くなった。県では、笹目川の治水安全度を高めるための対策として排水機場の増強を行う。市では、台風第19号以降、さくら川の堤防の高さを上げる取り組みや、下水でも対策をしている。想定を超える降雨すべてに対応することは難しいが、国、県、市が流域治水の考えのもと、取り組みを進める。

(質問) 下水の整備はどのくらい進んでいるのか。
また、合流地域は分流に変更していくのか。

(回答) 合流地域の整備は100%終わっている。
今後、合流地域を分流に変更する計画はない。

(質問) 周辺で起きているのは内水被害である。台風第19号での漕艇場北側の浸水被害は内水だったのかボートコースからの溢水だったのか。

(回答) ボートコースからの溢水と、内水による出水があった。

(質問) 何が原因で被害が発生したのか、浸水被害が軽減するためにどのような手順で事業を進めたいのか言わないと理解が得られないのでは。

(回答) 被害が起きた原因は、計画を超える雨量で漕艇場を介して川の水が溢水してしまった。内水被害も同様に計画を超える雨量であったためである。
まずは、あるべき姿に戻すために、笹目川堤防の嵩上げ及び浚渫を行うとともに、ボートコース場の貯水量の拡大を図る。そのうえで、より強い計画とするため、排水機場の増強、樋門を整備することとしている。手順は、施設の規模により完成の時期は異なるが、同時にスタートを切って進めていく。

(質問) 樋門の整備ではなくボートコース場の北側をA.P+4.9mまで上げる考えはないのか。4.9mまで上げれば、水をより多く溜めることができると思う。

(回答) ボートコース場の周囲を4.9mまで上げる予定はない。
将来に向けて、ご意見のような漕艇場の周囲の高さをあげて水をためる話が出たときは、公園施設であるので、関係者と話をしていくことになる。

(質問) 台風第 19 号の際に荒川上流域で決壊して、どのくらいの量が氾濫したのか。
また、令和元年台風と同様の雨が来た際に同じ箇所が決壊すると考えているのか。
整備をすることで決壊した水が荒川に入り、それが戸田に来ることは想定していないのか。
調節池の整備は 10 年 20 年単位となってくると思うが、いつできるのか。
私は戸田市で水害をゼロにする考えである。一か所でも出たらだめである。それを
同時進行的にやってほしい。

(回答) 荒川の氾濫した量は把握していない。
決壊しないために、それぞれの地区で調節池の整備等を進めていると聞いている。
いつできるのかは把握していない。
本日説明をした取り組みは、いずれも戸田市の治水安全度を高めるものであるため、
今できる対策を、すべて同時進行的に進めさせていただく。